



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：株式会社ティーエスケー

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

- ・「人材こそ財産」をモットーに「この地で業務を拡大してこられたのも地域のおかげ」と考え、地域貢献の意味からも積極的な雇用を進めようと考えたため。
- ・支援機関への視察を重ね、また、「障害者就業体験雇用促進事業」へ参加し企業内実習を経て雇用した。

2. 障害のある人が従事している主な業務

書類のPDF化による電子化業務、事務用品や消耗品等の伝票入力業務、事務用品の保管管理、名刺作成業務、社有車管理補助業務

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・障害者雇用に関する外部セミナーに積極的に参加して知識の向上に努めている。
- ・部内にて障害者雇用に関するテキスト等を配布して情報を伝達している。
- ・特性に合わせた就業場所や環境の整備。
- ・特性に合わせた業務を話し合い業務内容を精査。
- ・ジョブコーチを選任し、指導、相談窓口を設置した。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・障害者の特性に応じて就業場所や机の配置を考慮している。
- ・本人の体調や希望に応じてスケジュールを作成し、勤務時間を決定している。
- ・各人オリジナルの日報を作成し、相談や業務のアドバイスをを行っている。
- ・業務上の悩みや相談事を共有するためにも、障害者就業・生活支援センター担当者と本人を含めた面接を行っている。
- ・ジョブコーチによる業務指導や個別相談を行っている。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 障害者就業・生活支援センター ）

活用して良かった点

- ・専門的な立場から指導方法についてサポートを具体的に受けることができた。
- ・様々な事例毎に、対処方法についてアドバイスを受けられた。
- ・法令等の内容や改正について説明を受けることができた。
- ・個人面接を行い、近況報告や業務についてアドバイスを受けることができた。